

その他統計資料

令和4年6月9日

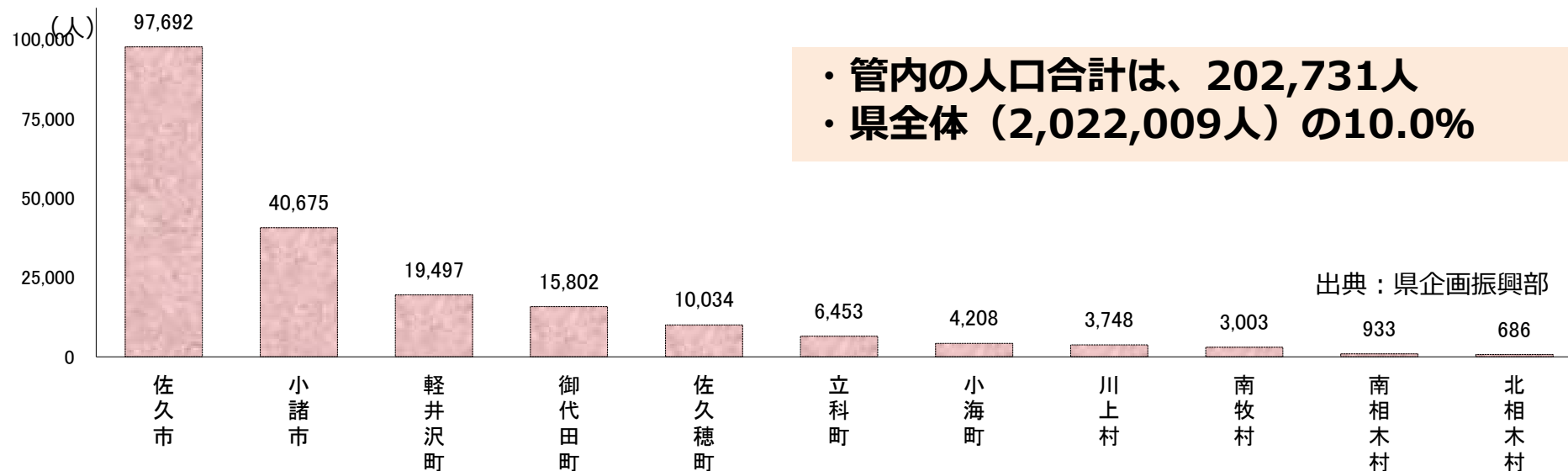
佐久地域振興局

※本資料は令和4年5月25日「市町村企画担当課長会議」における配布資料を一部修正したものであり、本日の会議資料6-2と重複する統計が含まれています。

【人口】

○市町村別人口

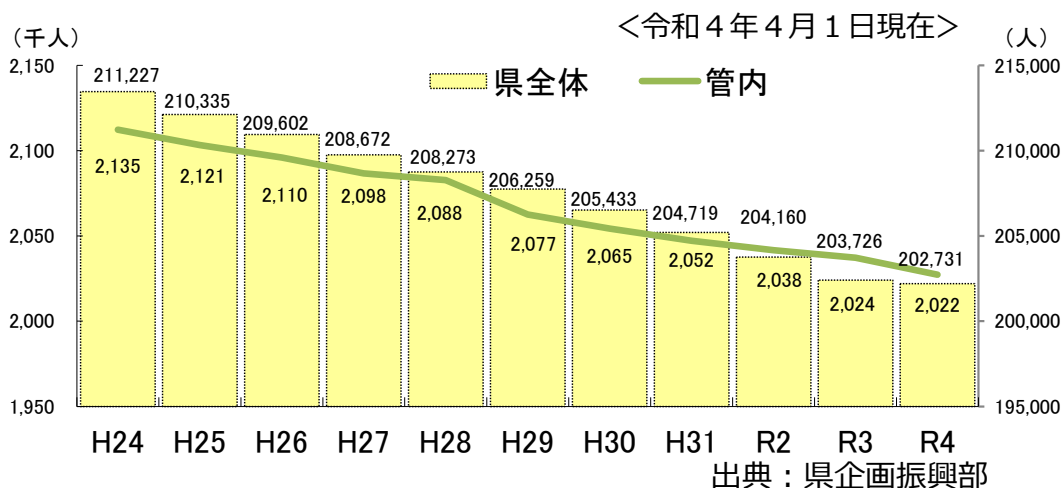
<令和4年4月1日現在>



- 管内の人口合計は、202,731人
- 県全体 (2,022,009人) の10.0%

出典：県企画振興部

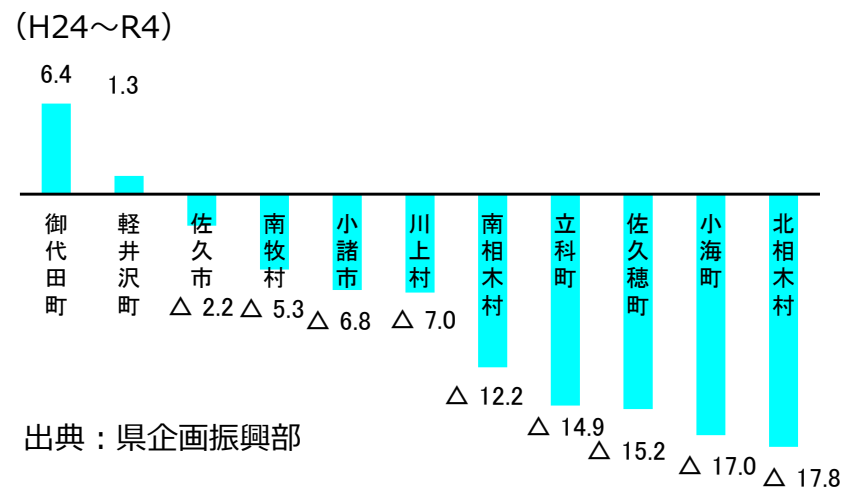
○人口の推移



出典：県企画振興部

- 人口減少社会の到来が鮮明に
- 10年間で約8,500人の減 (△4.0%)

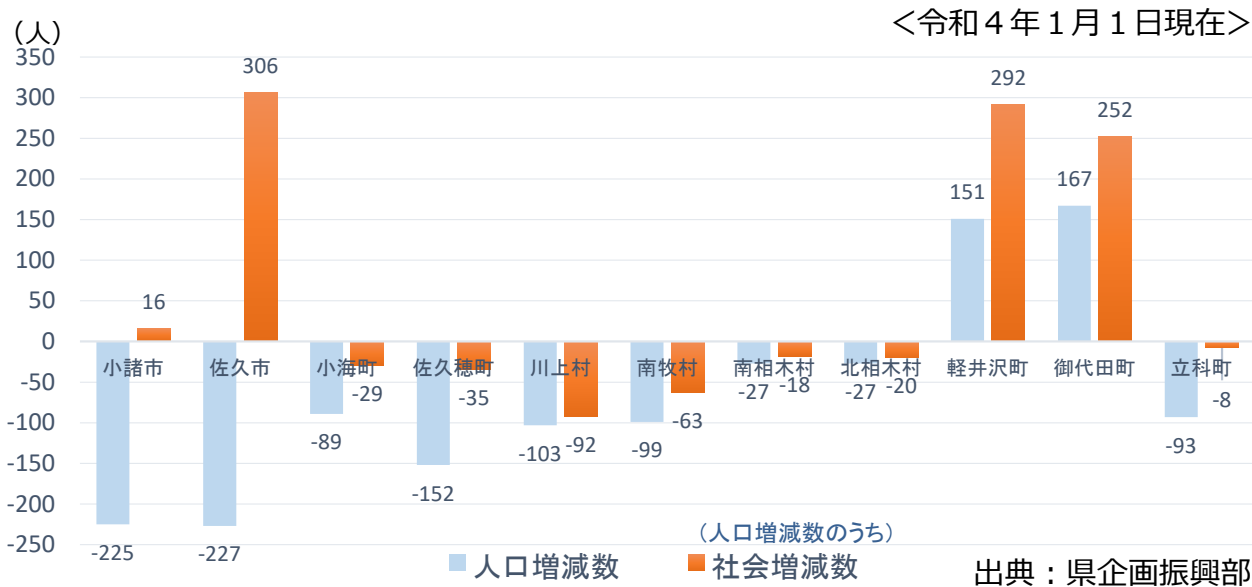
○10年間の人口増減率



出典：県企画振興部

- 御代田町、軽井沢町は増加
- 他市町村は減少

○人口増減数（前年比）



・御代田町は、長野県内で最も人口増加数が多い

※長野県内の前年比人口増加自治体は、御代田町(167)、軽井沢町(151)、南箕輪村(80)、根羽村(10)、原村(8)の5町村 *カッコ内は増加数

・小諸市、佐久市は、社会増

※人口増減数 = 自然増減数 + 社会増減数

* 自然増減数
出生者数と死亡者数の差

* 社会増減数
転入者数 - 転出者数 + その他増減数

○年齢別人口の推計

(佐久地域11市町村の人口ピラミッド)

・生産年齢人口（15～64歳）の明らかな減少が見込まれる

※生産年齢人口（2045年は推計値）

2020年：111,654人

2045年：77,501人（△30.6%）

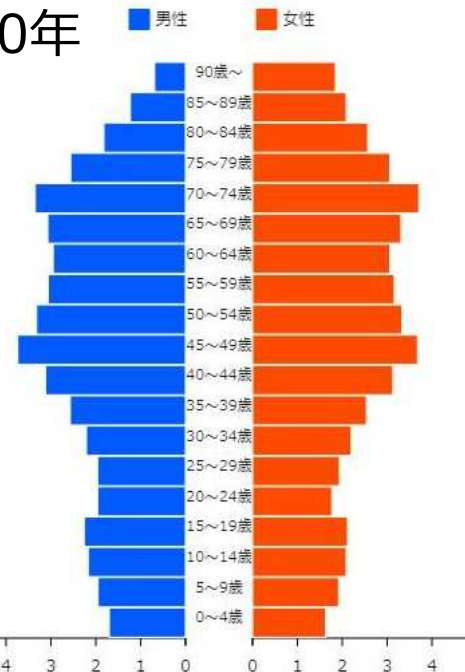
※老年（65歳以上）人口（2045年は推計値）

2020年：65,498人

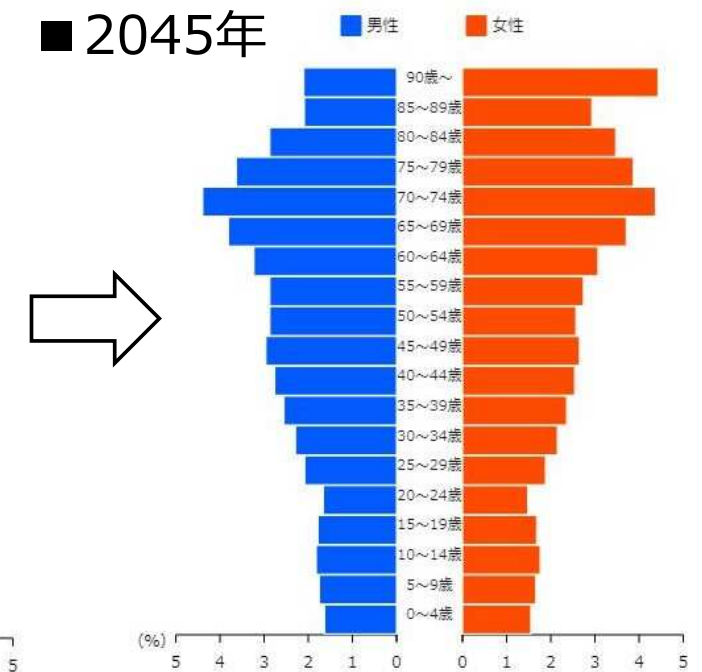
2045年：71,482人（+9.1%）

・女性高齢者の増加が著しい

■ 2020年



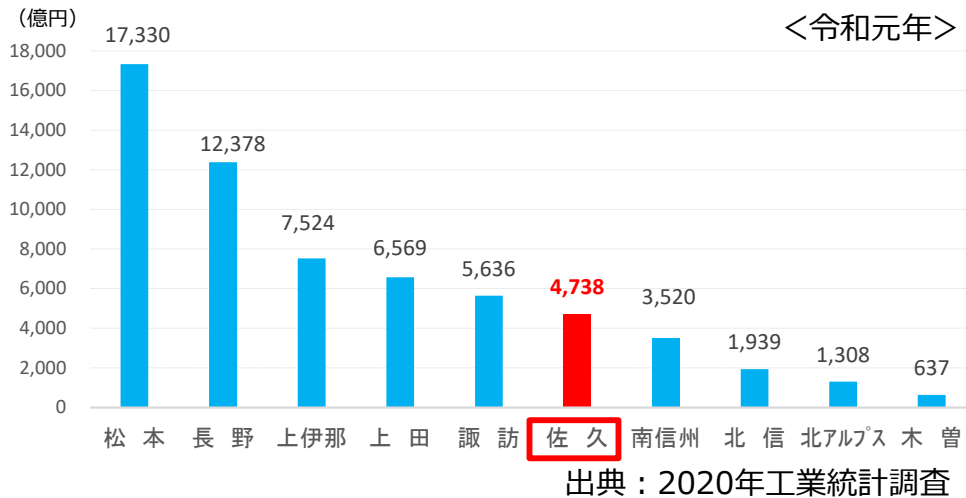
■ 2045年



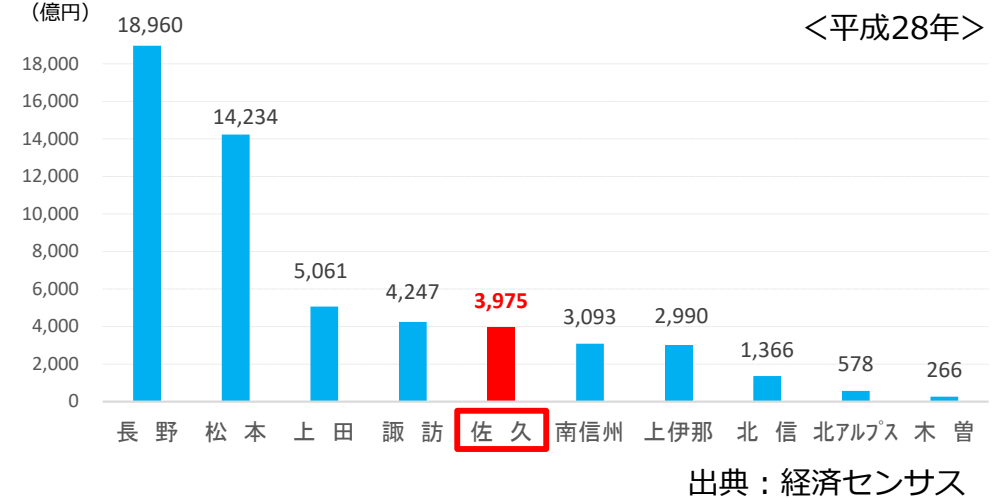
出典：地域経済分析システム（RESAS）

【産業】

○製造品出荷額等（圏域別）



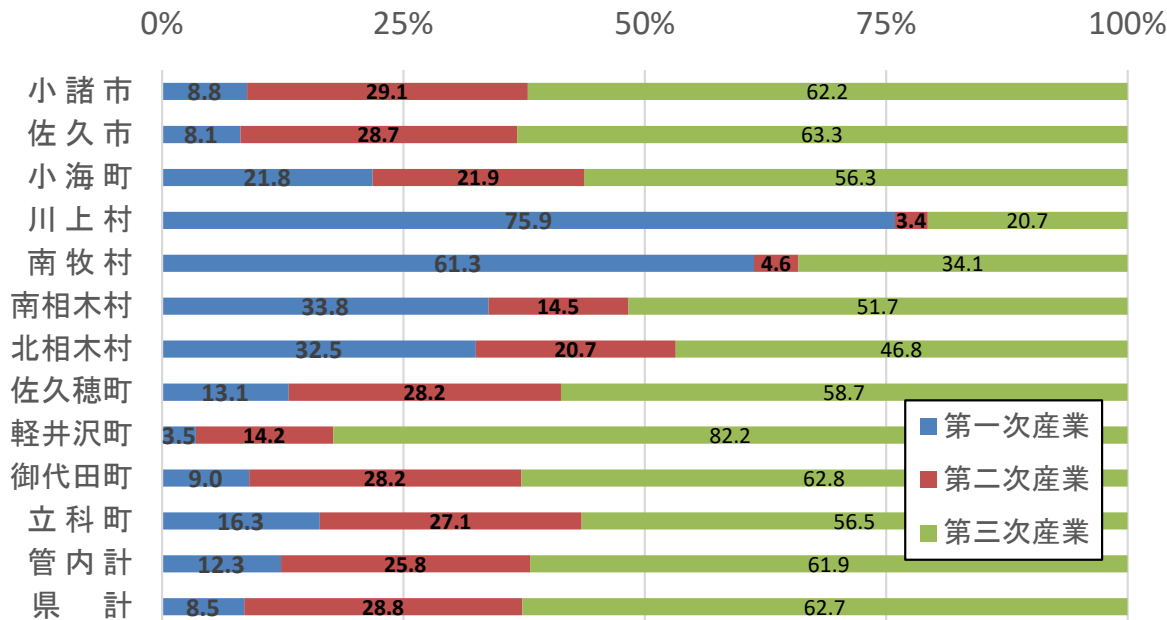
○商品販売額（圏域別）



・ 中小・小規模企業が集積し、小諸市、佐久市、御代田町には大企業の事業所も立地

・ 佐久市が佐久地域全体の約半数（48.9%）を占める

○市町村別産業別就業者構成比

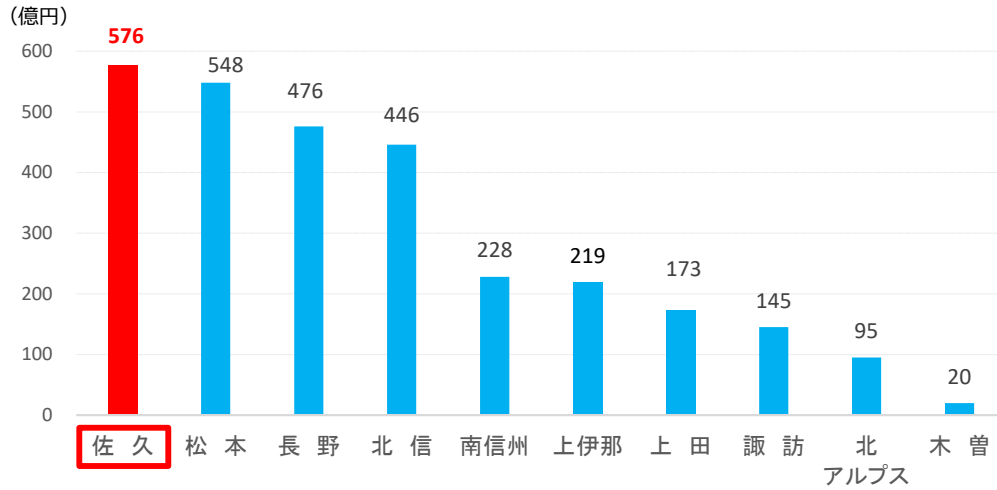


・ 県計と比較すると、第1次産業の割合が高く、第2次・第3次産業の割合が低い

・ 市町村により構成比は様々

○農産物産出額（圏域別）

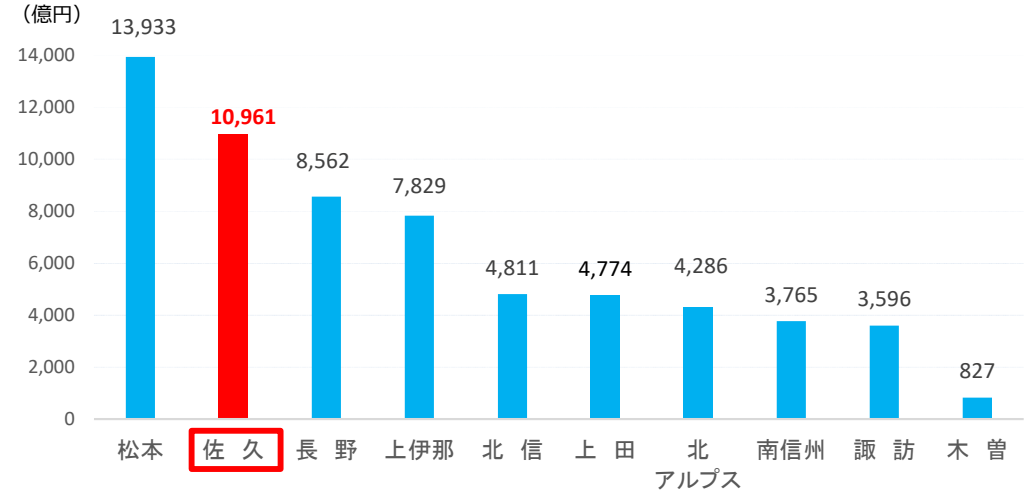
<令和2年>



出典：県農政部

○農業経営耕地面積（圏域別）

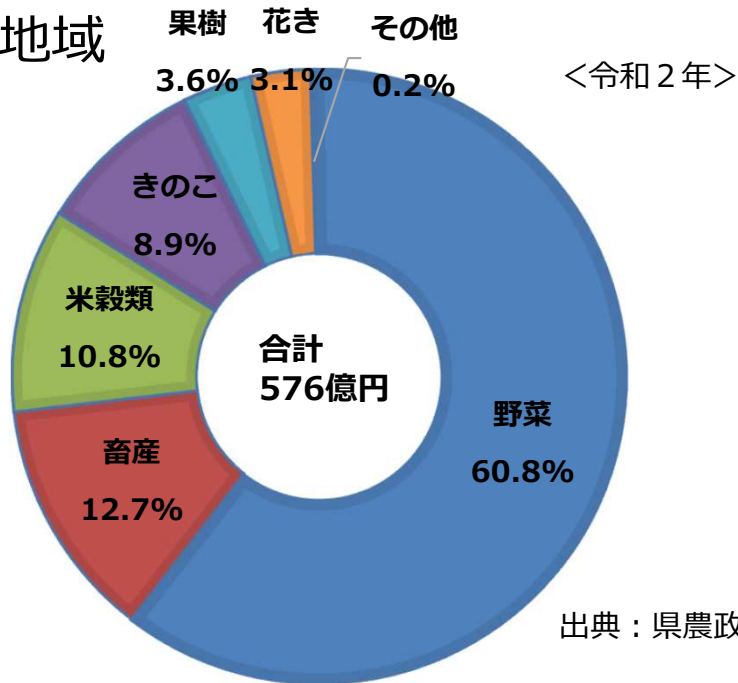
<令和2年>



出典：農林水産省「農林業センサス」

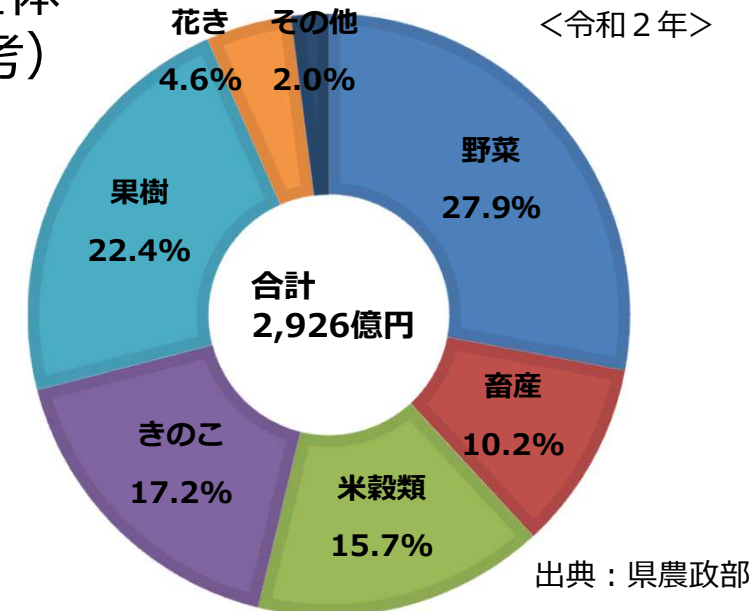
○農産物産出額

■佐久地域



出典：県農政部

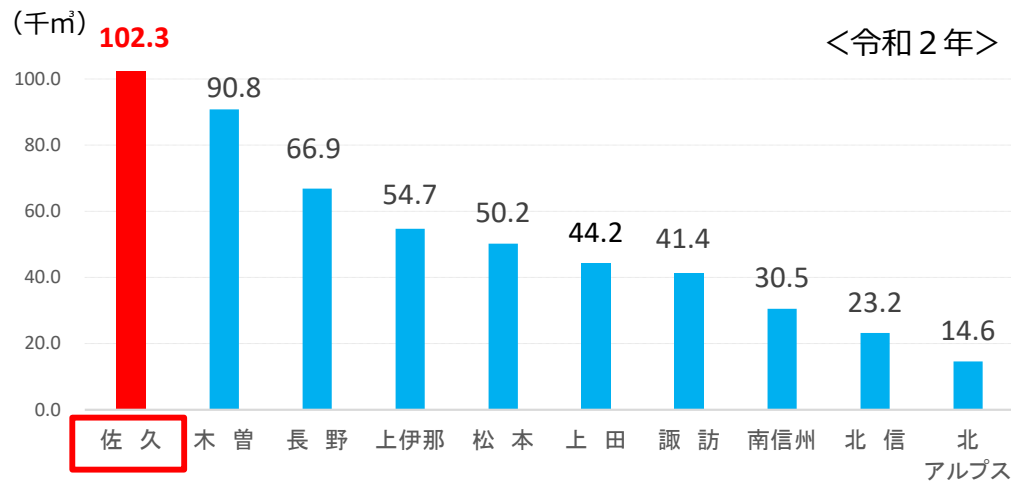
■県全体 (参考)



出典：県農政部

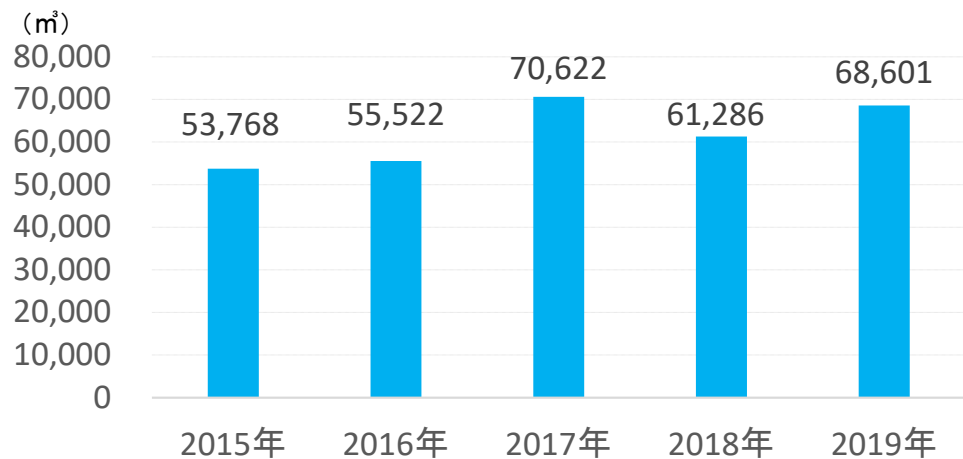
・南佐久地域を中心に県内有数の農産物の産地

○木材生産量（圏域別）



出典：県林務部

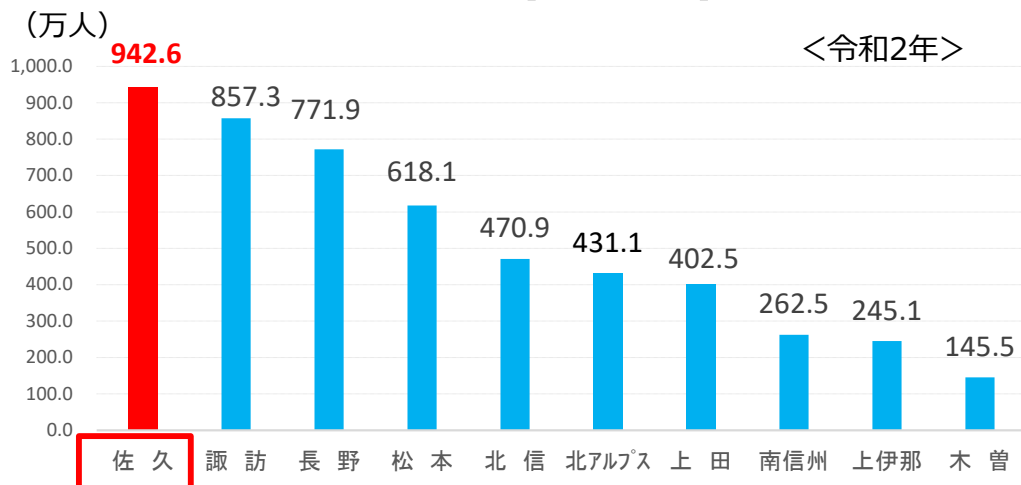
○民有林カラマツ丸太生産量の推移（佐久地域）



出典：県林務部

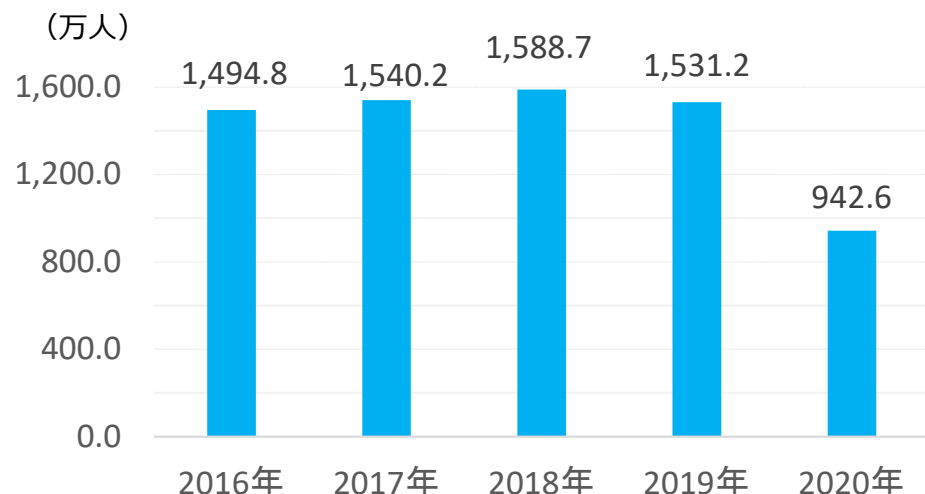
- ・ 信州カラマツの郷土であり、伐採期を迎えた優良なカラマツが豊富に存在
- ・ 需要が好調であり、森林施業が間伐から主伐に移行しているため、生産量が増加

○観光地延利用者数（圏域別）



出典：県観光部

○観光地延利用者数の推移（佐久地域）



出典：県観光部

- ・ 軽井沢町をはじめ、多くの観光客が訪れる
県内屈指の観光エリア

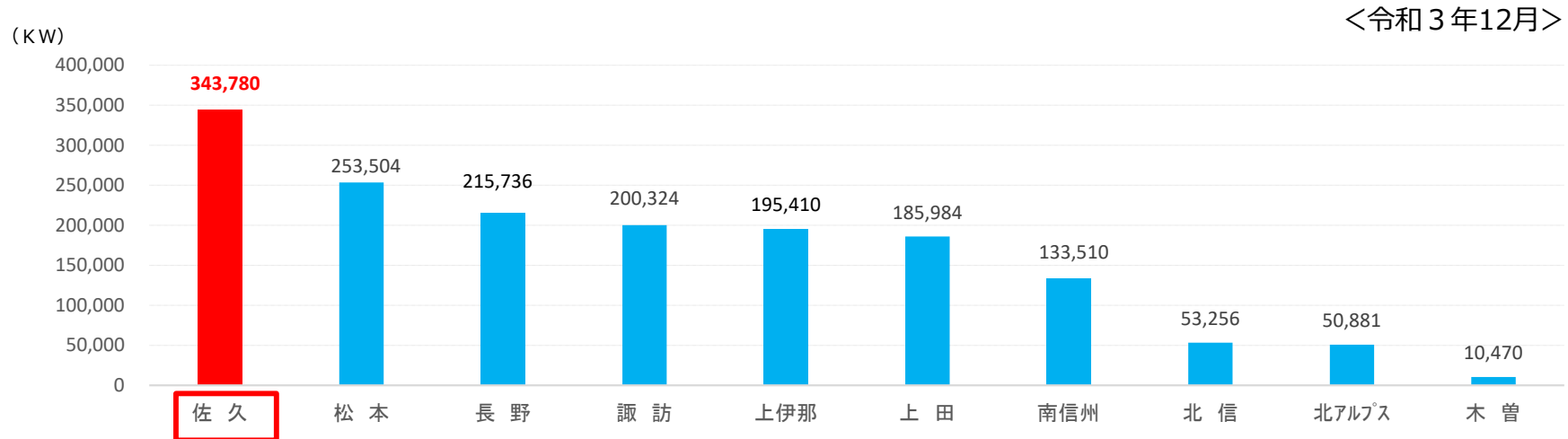
※軽井沢町514.4万、佐久市139.7万、立科町128.3万、
小諸市89.3万、その他70.9万

- ・ ここ数年、観光客は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により激減

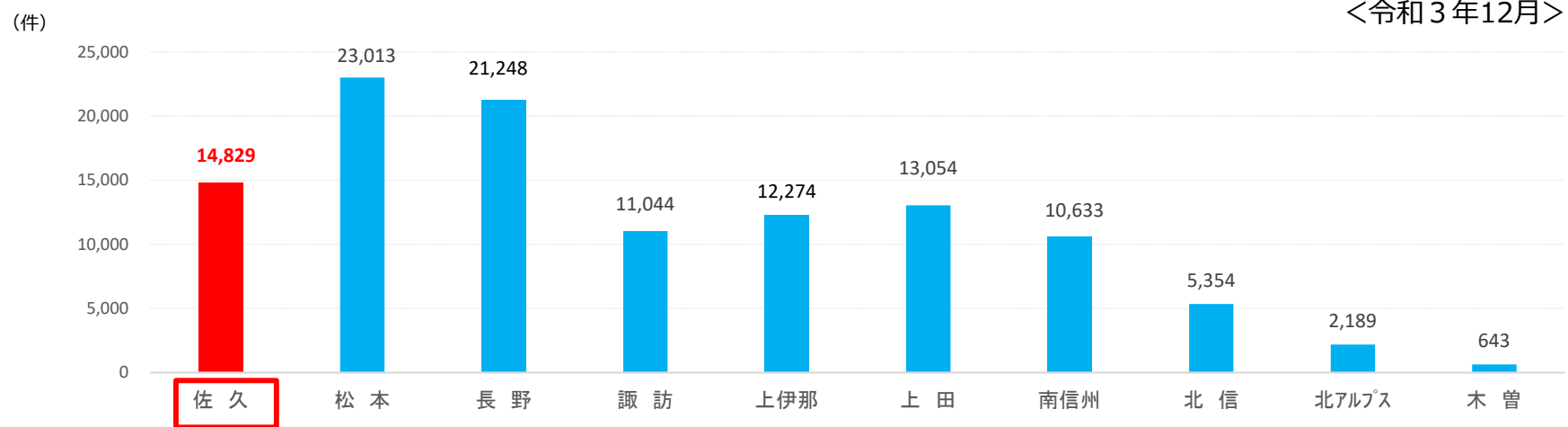
【環境】

○再生可能エネルギー発電設備導入状況（太陽光）

■導入容量



■導入件数



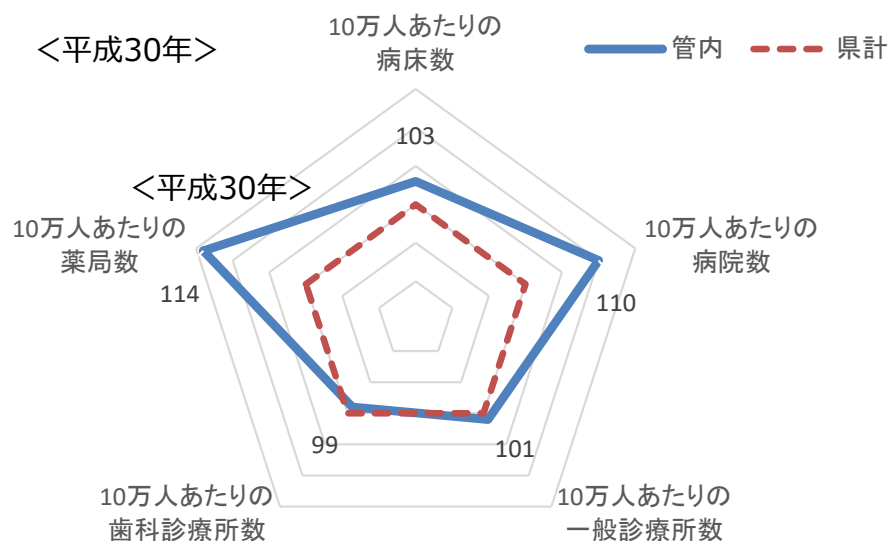
出典：環境省「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法 情報公表用ウェブサイト」

- ・高い晴天率を活かし、太陽光発電の普及が進む
- ・導入容量は、全県計（1,642,854kW）の1/5（20.9%）を占める

【医療・健康】

○医療施設

※長野県を100として佐久地域と比較（指数）

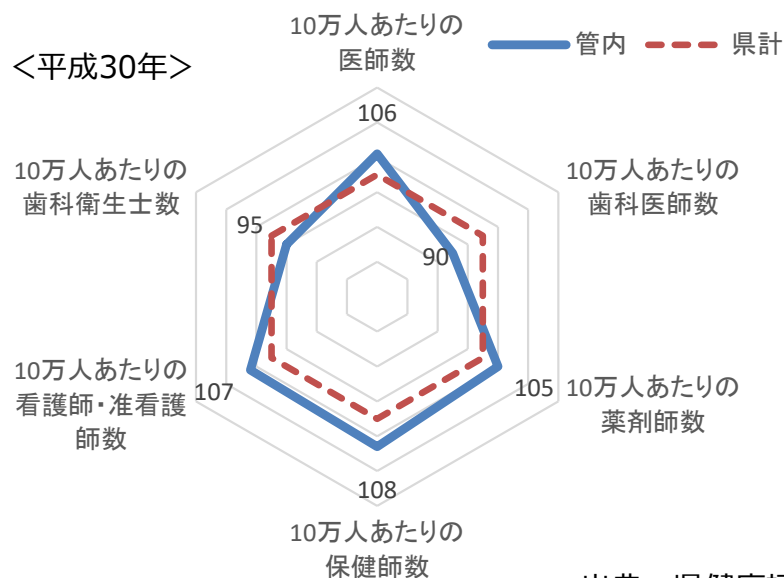


出典：県健康福祉部

・管内に13の病院を有するなど、医療施設は充実

○医療従事者数

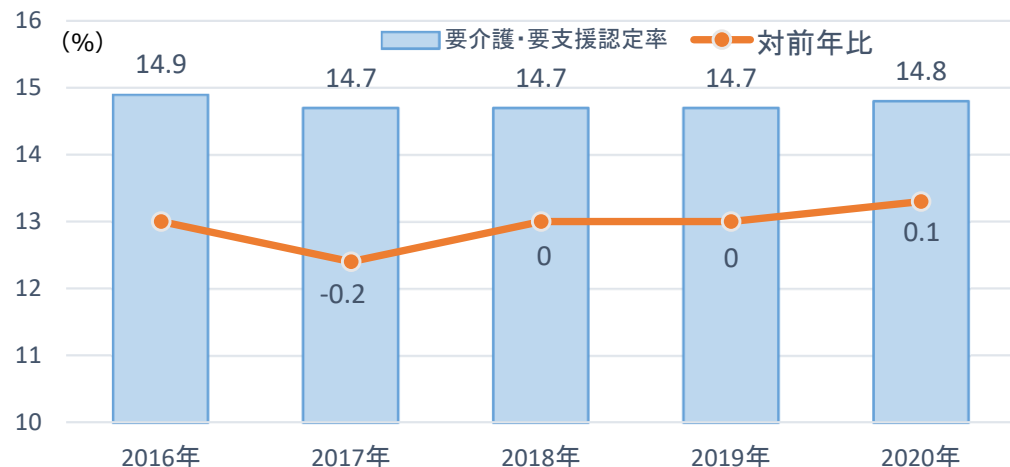
※長野県を100として佐久地域と比較（指数）



出典：県健康福祉部

・医療施設数に応じて医療従事者も多く、概ね県平均以上

○要介護・要支援認定率の推移（佐久地域）



・要介護・要支援認定率は現状を維持

（参考）県・全国の状況

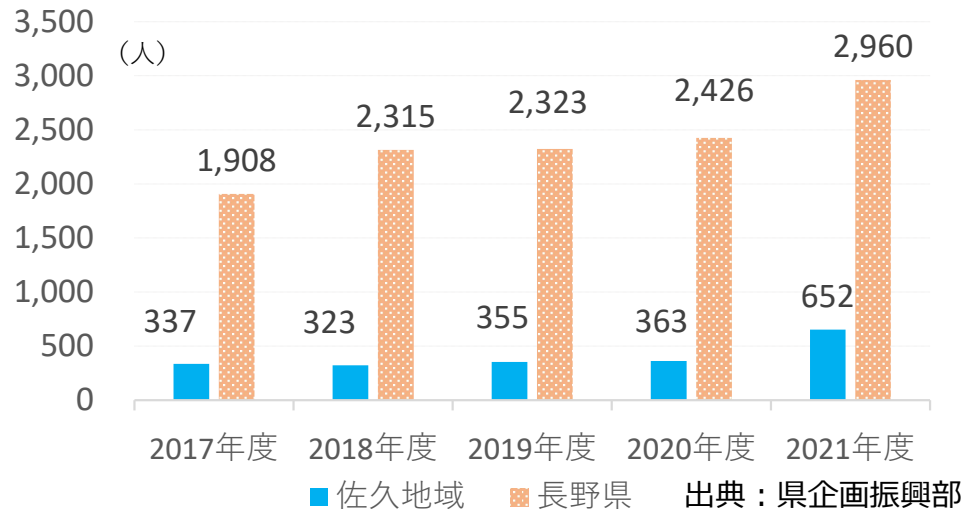
○要介護・要支援認定率

＜令和3年3月＞	
佐久地域	14.8%
県	17.1%
全国	18.6%

出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告月報」を基に算出

【移住】

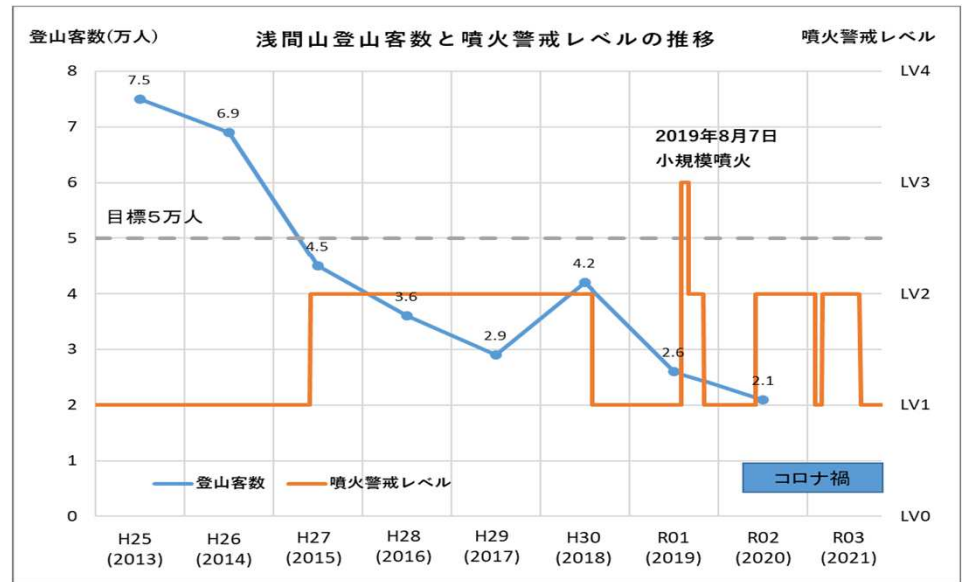
○移住者数の推移



- ・ 佐久地域、県全体ともに移住者は増加傾向
- ・ 佐久地域への移住者数は10圏域で最多 ※2021年度

【浅間山】

○登山客数と噴火警戒レベルの推移

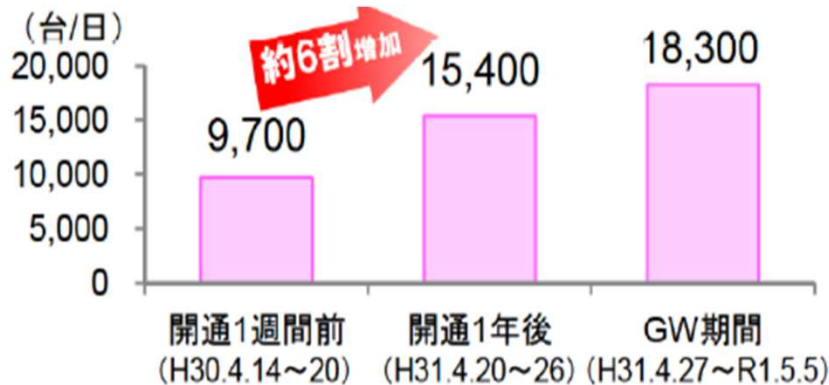


- ・ 登山客数はレベル上昇により大きく減少

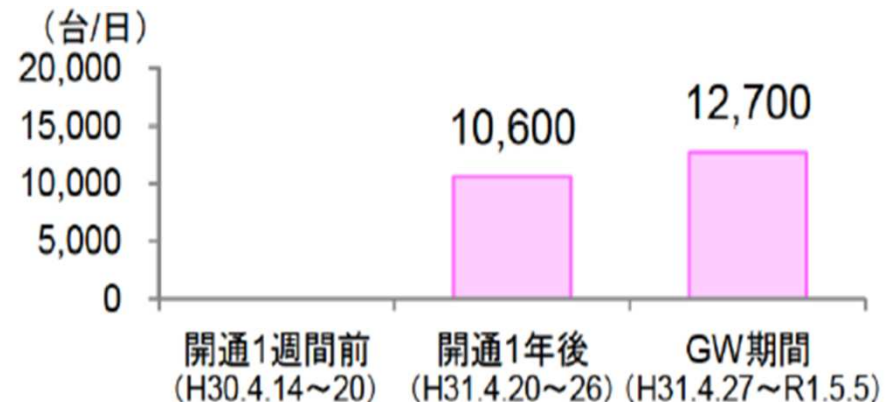
【中部横断自動車道】

○長野区間の交通量 ※H30.4.28開通

■ 佐久南IC～佐久中佐都IC



■ 佐久臼田IC～佐久南IC



出典：国土交通省関東地方整備局長野国道事務所・甲府河川国道事務所、中日本高速道路株式会社東京支社発表資料

- ・ 新区間の開通後、交通量は順調に増加